

もり みやいち

## 第20回 杜の宮市「帰ってきた、大せんい市」事業のご案内

(5月5日 駅前 銀座通 新企画)

各位

令和2年2月20日  
杜の宮市準備委員会  
会長 森一生 担当 星野博

平素は大変お世話になっております。

この5月5日に開催されます「杜の宮市」での新規事業「帰ってきた、大せんい市」につきましてご案内申し上げますとともに、ご協力ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年第20回となる杜の宮市では、新たに「安全安心ウォークアブルな遊歩街」への取り組み・社会実験として、一宮駅東口駅前からロータリーを経て本町商店街に至る銀座通りの車道を歩行者に開放し、新たな展開を図ることとなりました。その展開の中の一事業が「帰ってきた、大せんい市」です。

下記内容と裏面地図や画像などをご確認いただき、ご参加ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

### 第20回 杜の宮市「帰ってきた、大せんい市」

目的： 繊維を地場産業とする一宮地域は長期に衰退してきたが、昨今、新しい人材と新しい取り組みが様々に広がってきている。カルチャーとコミュニケーションのまつり「杜の宮市」にて、広域からの来場者にとって玄関口あるいは一宮の顔である駅前にて、こうした新しい「せんい」の息吹きと関連する諸般のありようを伝え、地域アイデンティティの表現を仕組み、経済循環に繋がる地域文化基盤を醸成する。

趣旨： 一宮市最大のイベント「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」では、一番の駅前で、繊維の特売会が1965年の初回から1978年まで開催され、「大せんい市」と名前を変えてスポーツ文化センターに場所を変え数年で終わった。その復刻版を、同じ駅前で文化発信としてもルネッサンスしていきたい。

日時： 令和2（2020）年5月5日（火曜日・こどもの日）10時より16時30分  
搬入は7時より、搬出は19時まで

場所： 一宮市栄3丁目地内、駅直前、銀座通り西端1ブロック（いちい信用金庫北から東へ次の角まで）

主催： 杜の宮市準備委員会（事務局は、特定非営利活動法人 志民連いちのみや）

内容： 車道両側に、2.4m角のテントブースを30ほど設置し、地域内外の企業・団体・個人を問わず、「尾州」で「糸偏」、繊維関係ならば、販売も広報も展示も基本なんでも出展可能とする。

申込： 杜の宮市公式ホームページ上のフォームに申込を受ける。3月8日(日)締切。

費用： 1ブース7,000円。テント・机・備品ほかすべて持込（テントが準備できない場合は応相談）

参考： 杜の宮市は2001年から毎年春に開催され、前回は来場者3万人、推定経済循環3千万円、出展は全国より381ブース、100人ほどのボランティアスタッフですべて企画運営。

第20回の会場は、一宮駅西口広場から駅コンコース内、駅東口から銀座通全体、御朱印地商店街の一部、本町商店街全体、葵公園、夢織広場、オリナス、刃正幼稚園駐車場一部、宮前三八市広場、真清田神社境内を予定。後援・協力（予定）は、愛知県、愛知県観光協会、一宮市、一宮市観光協会、一宮市教育委員会、一宮市社会福祉協議会、一宮商工会議所、アイ・シー・シー、FMいちのみや、中日新聞、共同通信社、真清田神社。



駅前での、かつての織物特売会（大せんい市）のようす

